

# 平成20年(2008年) 一般個人向け会社説明会



コスモ・バイオ株式会社

2008.9.9

[www.cosmobio.co.jp](http://www.cosmobio.co.jp)

**JASDAQ**  
Listed Company 3386

## 目次



1. 会社概要
2. 事業内容と特長
3. 事業計画
4. 2008年12月期中間決算の概要と見通し

## 会社概要



社名： コスモ・バイオ株式会社  
業種： 卸売業  
証券コード： 3386  
本社所在地： 東京都江東区東陽2丁目2-20  
代表者： 代表取締役社長 原田 正憲  
設立： 1983年8月  
資本金： 918百万円  
事業内容： ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の輸出入および国内販売  
従業員数： 76名(他パート・派遣社員:27名)  
(単体)  
売上高： 5,906百万円(2007年12月期連結)



3

## 沿革



- 
- 1983年8月 丸善石油株式会社(現、コスモ石油株式会社)の子会社として丸善石油バイオケミカル株式会社を設立
- 
- 1986年4月 コスモ・バイオ株式会社に社名変更、バイオ研究用機器販売を開始
- 
- 2000年9月 MBO(マネージメント・バイ・アウト)によりコスモ石油株式会社から独立
- 
- 2004年8月 100%子会社COSMO BIO USA, INC.を米国カリフォルニア州サンディエゴに設立
- 
- 2005年9月 ジャスダック証券取引所へ上場
- 
- 2006年12月 株式会社プライマリーセルの80%の株式を取得、子会社化
- 
- 2007年11月 ビーエム機器株式会社の発行済株式の30%を取得、持分法適用の関連会社化
- 

4

## 2. 事業内容と特長

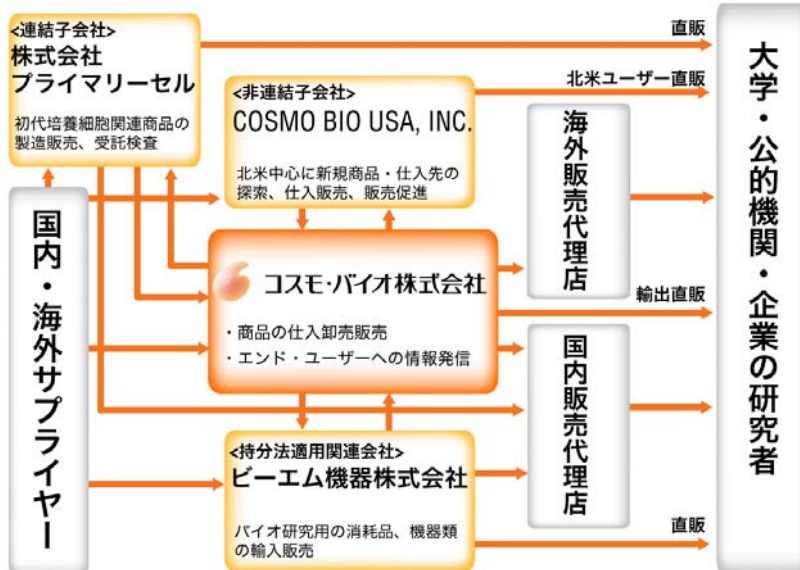
www.cosmobio.co.jp

5

### ビジネスモデル

#### 「バイオ研究を支援する専門商社」

コスモ・バイオ株式会社  
Cosmo Bio Co., Ltd.



6

## ビジネスモデル

### 「豊富な商品・情報と多様なユーザーニーズのマッチング」



- ユーザーニーズに対応できる70万以上の豊富な商品
- 各種プロモーションツールによる専門性の高いサービス・情報の提供



7

## バイオ研究とは



### 医療・健康

- ゲノムやタンパク質の構造や機能解析
- 再生医療(ES細胞、iPS細胞の利用)
- 脳や神経系システムの解明
- がんの治療や予防
- 生活習慣病
- アンチエイジング、アルツハイマー

### 食料

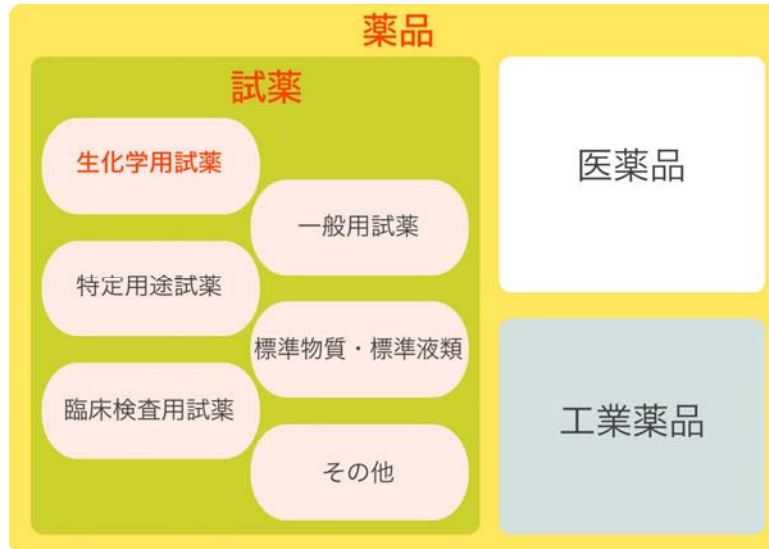
- 遺伝子組換え作物
- 発酵技術
- バイオ食品

### 環境・エネルギー

- 環境ホルモン
- 生分解性ポリマー
- バイオリアクター
- バイオ燃料

8

## 薬品の分類「当社の取扱う試薬」



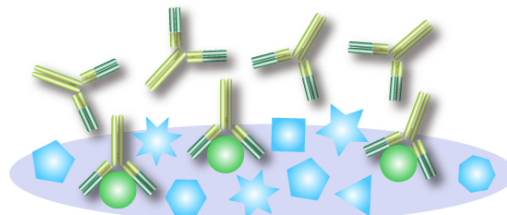
参考：社団法人 日本試薬協会 ホームページ

9

## 商品説明「代表的な当社の商品」

### ■ 汎用試薬（バイアル単位で販売）

- 抗体
  - 抗体とは動物の免疫系の細胞で作られ、特定の物質(抗原)のみに結合するタンパク質
  - 売上の約40%を占める商品群
  - 商品数約23万品目を取り揃える
- その他
  - DNA、ホルモン、サイトカインなどの生体内物質、培地添加剤、ケミカルなど



10

## 商品説明「代表的な当社の商品」

### ■ 応用試薬（用途に合わせて試薬等をセットにしたもの）

- 遺伝子
  - 遺伝子解析、タンパク質発現等の研究で用いられるキット
- その他
  - 生体内物質や環境汚染物質の検出定量キットなど



11

## 商品説明「代表的な商品」

### ■ 機器

- 小型電気泳動システム「i-MyRun」
- 超音波細胞破碎装置「Bioruptor」
- 倒立型細胞観察マイクロスコープ「セルウォッチャー」
- パーチャルスライド「Toco(トコ)」など



### ■ 臨床検査薬

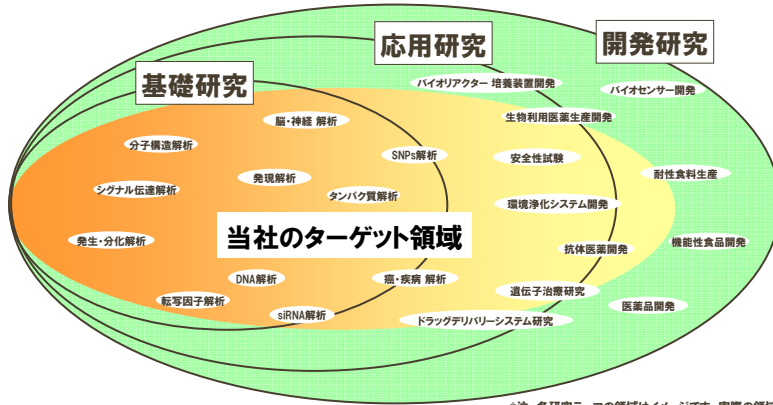
- 「血液凝固因子測定試薬」



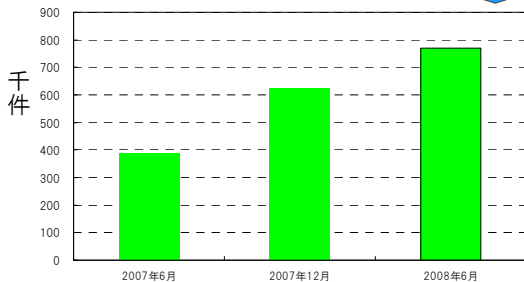
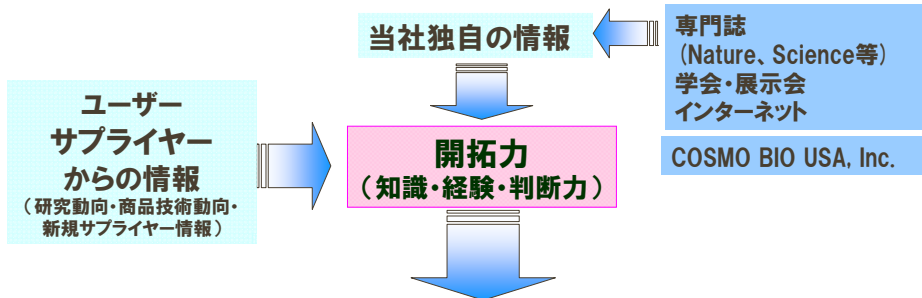
12

## 事業ドメイン「バイオ研究支援」

■ 基礎研究ステージを中心に幅広い領域をサポート



## 当社の強み「新サプライヤー・新商品開拓力」



**サプライヤー (約580社)**  
取り扱い商品  
**約70万品目以上**  
(業界トップクラスの商品力)

## ネットワーク「世界にまたがるサプライヤー」

世界各国に約580社のサプライヤーネットワーク

約70万品目の品揃え



15

## 当社の強み「情報サービス力」

整理された豊富な商品情報

研究動向・商品情報

学術基盤  
を持った  
人材

各種プロモーションツール

- ホームページ
- カタログ
- ニュース
- 展示会
- セミナー

商品情報  
データベース

商品検索システム

カスタマー  
相談窓口

検索しやすい

ユーザー

16



## 各種プロモーションツール

### ホームページ



### カタログ



### ニュース



### 商品検索

品名	規格	単価	税別	在庫数
Anti-IL-17A (Abcam) 100µg	100µg	100,000	100,000	100
Anti-IL-17A (Abcam) 500µg	500µg	500,000	500,000	500
Anti-IL-17A (Abcam) 1mg	1mg	1,000,000	1,000,000	1,000

### セミナー

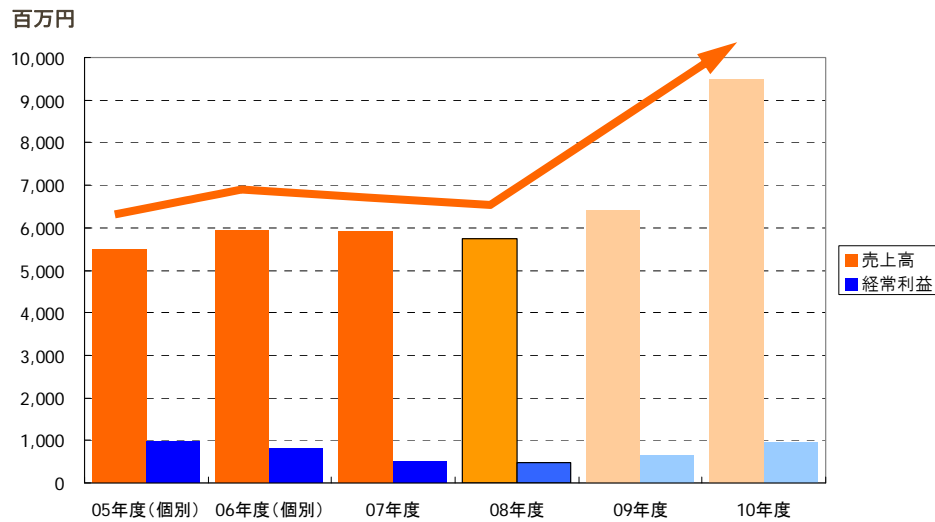


### 展示会



## 3. 事業計画

## 2010年までの売上と経常利益目標(連結)



19

## 2010年目標達成に向けた事業戦略



1. 収益力の強化(コア事業の強化)
2. ブランドの創造
3. 海外展開の加速
4. 子会社、関連会社とのシナジーの創出

20

## 1. 収益力の強化「先端的商品の導入」

### ■ 先端技術を持ったサプライヤーからの先端的商品の導入

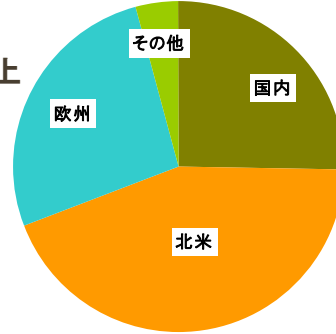
サプライヤー579社地域別構成

#### ● 2008年目標

- 新規サプライヤー：65社以上

#### ● 2008年中間期実績

- 新規サプライヤー：25社
- サプライヤー合計：579社
- 米国ルミナス社、加国カイネクス社と日本国内における独占販売代理店契約締結



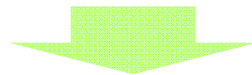
21

## 1. 収益力の強化 「差別化したサービスと効果的プロモーション」

### ■ WEB、カタログなどによる技術情報提供



- きめこまやかな提案型営業
- お客様窓口による専門的な相談サービスなど



お客様の信頼を得る

22

## 1. 収益力の強化「機器販売の強化」

- 関係会社、特にビーエム機器社との連携を強化
- 電気泳動装置、PCR装置、超音波細胞破碎装置など小型の機器を中心に展開
- 豊富な品揃えの消耗用器材を幅広く展開

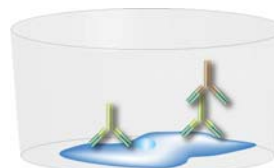


23

## 1. 収益力の強化「細胞事業の強化」

- 当社の強みを活かし細胞事業を推進
  - セルベースアッセイ構築用の豊富な商品ラインナップ
  - セルベースアッセイの実験系の多くで抗体を使用
  - 子会社のプライマリーセル社とのシナジー効果
    - 動物由来の初代細胞を安定供給できる世界的にも希少な会社
    - 細胞を中心とした各種受託試験サービスを提供

セルベースアッセイとは細胞レベルでの生体反応を調べる検出系全般をいいます



24

## 2.ブランドの創造 「質の高い情報発信と顧客サービス」

### ■ 学術ミーティング

- 3月:第7回日本再生医療学会ランチョンセミナー
- 6月:デルフィ社テクニカルセミナー
- 7月:Science論文セミナー(後援)
- 今後も日本癌学会、日本分子生物学会・日本生化学学会合同大会にてランチョンセミナーを開催予定

### ■ 印刷物

- 電気泳動操作法ハンドブックを4月に発行
- 抗体カタログを6月に発行
- 今後バイオ研究用試薬キットカタログも発行予定



25

## 2.ブランドの創造 「質の高い情報発信と顧客サービス」

### ■ 大学の公開講座等に協賛

- 2008年 第5回 公開講座応援団
- 13の団体に総額約326万円の協賛を決定
- ご要望に応え協賛金の増額も予定



大分大学工学部応用科学科  
「夏休み子供サイエンス2007」

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| ■ 秋田県立大曲農業高等学校      | ■ 高知工業高等専門学校          |
| ■ 愛知がんセンター研究所分子腫瘍学部 | ■ 東京工業大学 生命理工学部       |
| ■ 宇都宮大学農学部 附属農場     | ■ 福岡教育大学              |
| ■ 大分大学工学部応用科学科      | ■ 福島大学システム理工学類        |
| ■ 帯広畜産大学            | ■ 北海道大学女性研究者支援室FresHU |
| ■ 九州産業大学工学部理科研究会    | ■ 和歌山工業高等専門学校物質工学科    |
| ■ 九州大学農学部 附属農場      |                       |

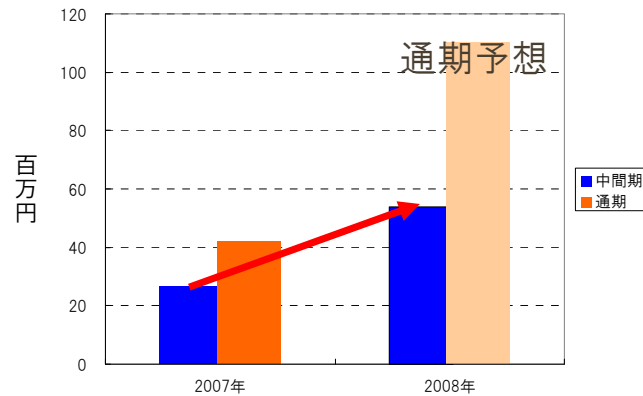
26

## 2. ブランドの創造

### ■ 自社ブランド商品の充実

#### ● 中間期好調の要因

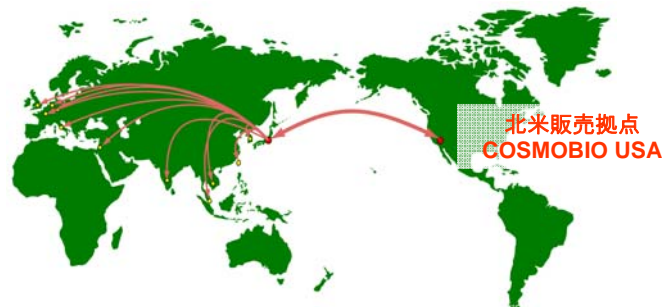
- 高品質自社ブランド商品(CosmoBio Antibody Collectionなど)の開発が順調
- 第一化学薬品社(現積水メディカル社)品の事業承継



27

## 3. 海外展開の加速

- 北米を中心に広告活動を強化
- 欧州を中心とした機器の安全規制厳格化への対応
- 販売用商材の開発
- 営業力の強化
- 欧米に加え、インド・中国へも展開



28

#### 4. 子会社、出資会社とのシナジーの創出

##### 製造

初代培養細胞(プライマリーセル)の研究開発から  
製造・販売および細胞を用いた受託解析を行う

##### プライマリーセル

再生医療事業取り組むバイオベンチャー企業  
リプロセル

##### コアフロント

再生医療分野のバイオ研究支援機器・材料事業  
に取り組むバイオベンチャー企業

##### バイオマトリックス

抗体作成に関する独自技術を持つ東京理科大  
学発のバイオベンチャー企業

##### 機器販売

##### コスモ・バイオ

##### 海外展開

##### ピーエム機器

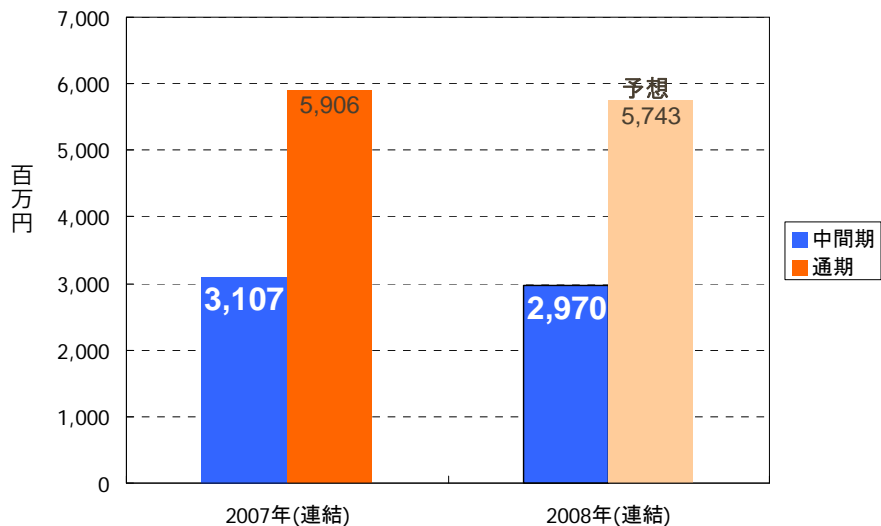
バイオ研究用の消耗品、機器類  
の輸入販売事業を行う

##### COSMOBIO USA

新規サプライヤー探索と輸出促進を行う

### 3. 2008年12月期中間決算の概要

## 連結売上高推移



31

## 決算概況「損益計算書(前年同期比)」

	2007年		2008年	増減 (▲減)	前年同期 比
	中間期	通期	中間期		
<b>売上高</b>	3,107	5,906	2,970	▲136	96%
売上総利益	1,243	2,256	1,171	▲72	94%
販管費	813	1,672	872	59	107%
<b>営業利益</b>	429	583	298	▲131	70%
経常利益	376	475	306	▲70	81%
純利益	202	243	▲118	▲320	—

32



## 貸借対照表(連結)



(百万円)	2007年12月	2008年6月	増減額(▲減)
総資産	5,302	5,055	▲247
流動資産	3,723	3,508	▲215
固定資産	1,578	1,547	▲31
負債合計	951	1,004	53
純資産合計	4,350	4,050	▲300
株主資本	4,339	4,069	▲270
評価・換算差額等	10	▲19	▲29

33

## キャッシュ・フロー計算書(連結)



(百万円)	2007年中間 期実績	2008年中間 期実績	増減額(▲減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	343	557	214
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲82	13	95
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲144	▲151	▲7
現金および現金同等物の増加額	119	418	299

34

## 通期業績の見通し

(百万円)	2008年 通期旧予想	2008年 通期新予想	増減額 (▲減)	増減率 (▲減)
売上高	5,786	5,743	▲43	▲0.8%
営業利益	300	431	131	43.7%
経常利益	277	430	152	55.2%
純利益	154	▲39	▲193	—

平均為替レート	2008年中間期	2008年下期(計画)
円/USドル	113円	110円

35

## 配当方針

### ■ 2008年度

- 株主に対する利益還元は、経営の重要な課題の一つ
- 安定配当を行っていくことを念頭に置き、配当性向を重視しつつ、今後の収益状況の見通しなどを総合的に勘案して決定
- 今般の減損損失の発生は、中長期的な収益構造に影響をするものではない
- 当期の通期配当(期末配当)として当初予想どおり、1株当たり1,100円を予定

36

## ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。